

幕末の日本と忍藩

行田市郷土博物館 学芸員

○○ ○○

① 描かれた異国船 ～これは誰が描いたもの？

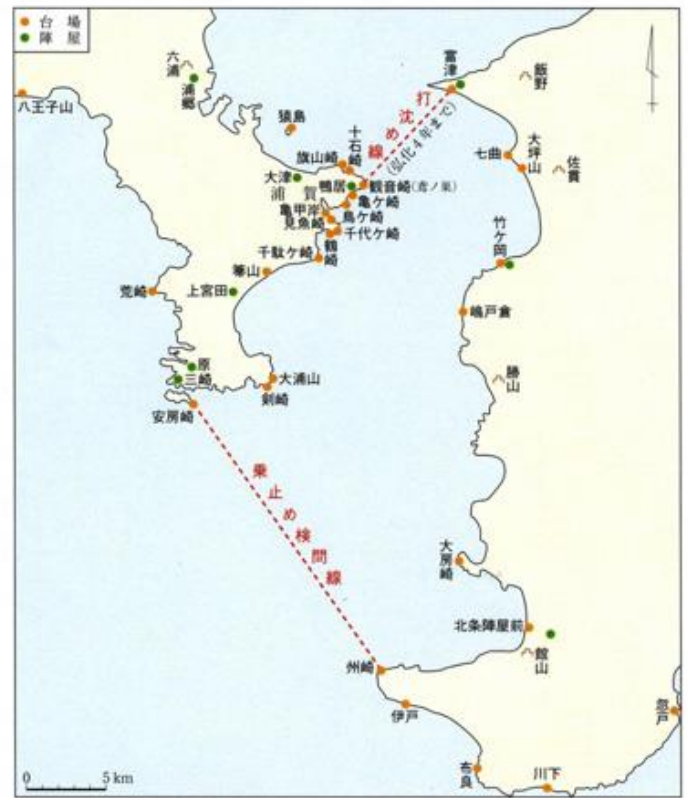


② 忍藩と江戸湾の防備のうつりかわり。

- | | |
|-----------------|---|
| 1842年天保13年8月3日 | 江戸幕府が「 隠番 」を「 上番 ・安番」の防番、「 川番 」へ伊相田沿岸の防番を命令
10月1日 |
| 1843年天保14年2月1日 | 先島メンバーが宮城のメンバー。同月5日に上番・安番の領地を受け取る |
| 1846年弘化3年8月2日 | アメリカのビートル艦隊来航にともない、幕府は隠番主松平安田と川番主
松平賢典に対して、各相当の陣地へ出陣を命令。隠城も現地へ出陣！ |
| 1847年弘化4年2月15日 | 上番の防番に「 隠番 」、伊相田の防番に「 川番 」がそれぞれ加えて配置され、
西番で警備を行うことになる。連携プレーが重要に！ |
| 1853年嘉永6年11月14日 | 「 隠番 」は上番・安番の防番担当を辞任、 川川第三台番の防番 を命じられる |
| 1863年文久3年8月28日 | 「 隠番 」は 川川第三台番の防番 を解任し、 高崎番へ引き渡した |
| 1864年文久4年3月15日 | 「 隠番 」は 川川第一台番の防番 を命じられる |

p. 1.

③ 江戸湾を守る軍事拠点の配置



Memo

p. 2.

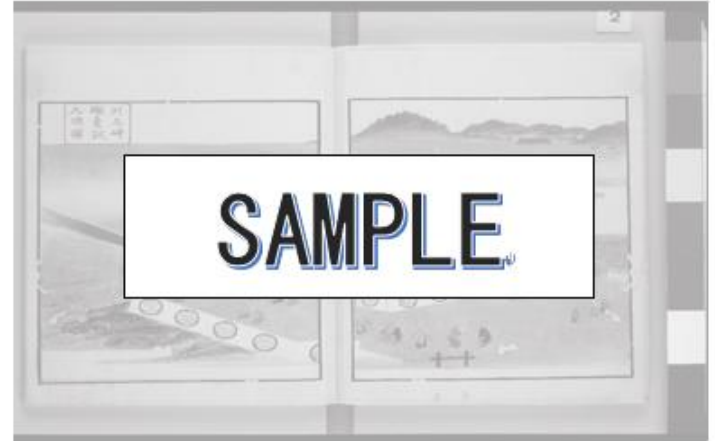
④「江戸湾の防備」ってどんな所で何をする事なのかな・・・？



▲富津臨海試験機関(千葉県富津市)

近海見分之間(神奈川縣立歴史博物館蔵)以下、同じ

大野崎商店(千葉県市川市)▼

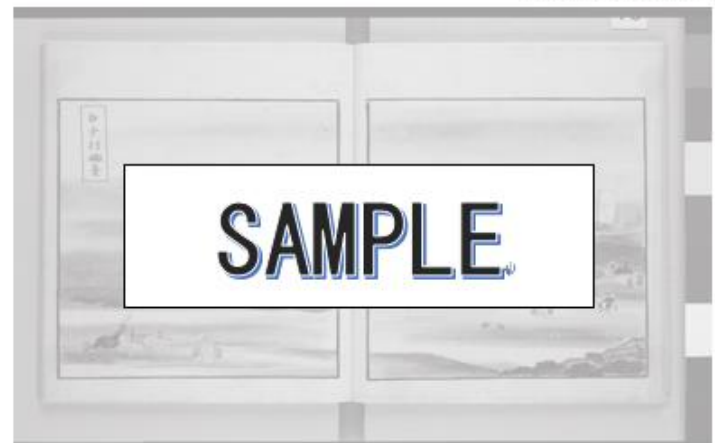


▲洲之舞臺試大燭圓(千葉縣葛山市)

白子村組合(千葉県白子町)▼



p. 3.



p. 4.

⑤ 19 世紀になると、どんな船がやってきたのかな？

	とき	国籍	船の種類	船名	できごと
1	1817年9月	イギリス	?	?	イギリス船7隻の帆影を確認
2	1818年8月	イギリス	商船	ブラザース号	はじめて浦賀に来航した異国船
3	1822年4月	イギリス	捕鯨船	サラセン号	捕鯨の途中で浦賀に寄港
4	1837年8月	アメリカ	商船	モリソン号	日本人漂流民の返送を目的に浦賀湾に来航するも、半田山台場からの砲撃を受けて退去 《異国船打払いの失敗》
5	1846年3月	アメリカ	捕鯨船	マンハッタン号	日本人漂流民の返送を目的に房総湾に来航。幸存は浦賀へ入港させ、漂流民を引き取る。
6	1846年閏6月	アメリカ	軍艦	コロンバス号 ヴィンセンズ号	日本の開国を意思表明、②通商条約(貿易)の可能性の探求を目的に来航。
7	1846年8月	デンマーク	軍艦	ガラテア号	中国での難航を終え、大森の沖合に出現。日本沿岸の難航を目的に江戸への入港を求めると、おぼされたため帰航
8	1849年閏4月	イギリス	測量船 (軍艦)	マリナー号	三崎湾に来航。浦賀奉行所はその場でマリナーを鑑泊させ、薪木や食料を年々運搬させた
9	1853年8月	アメリカ	軍艦 (密航船)	サスケハナ号 ミシシッピー号 プリマス号 サラトガ号	アメリカ東インド艦隊司令官ペリー率いる艦隊が来航。浦賀奉行の命令を無視し、鵜井湾に侵入して砲撃。交渉の末、久里浜村への上陸を許可し、大森町フィールド家の邸宅を浦賀奉行が占領した



- Memo+

p. 5.

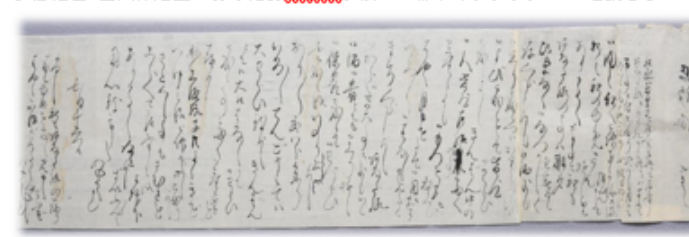
⑨ 忍の鉄砲にまけるなり ～“アノ場所”で行われた忍藩の砲術訓練～



地面形状因式(行田市郷土博物館蔵)

p. 7.

◎忍藩士 世川作之丞へあてた妻りうの手紙 ～幕末のラブレター📖を読もう～



1843 年(天保 14 年)5 月 16 日(行田市郷土博物館蔵)

☞ from 世川のう to 世川作之丞

1843 年(天保 14 年)5 月 16 日付

[illegible]

④ from 世川作之丞 to 世川りょう

1843年6月16日付け¹

なるやうな、何れも面白
 くない。たゞうかうか
 騒いで居るだけ、どうも
 気が騒動を起したのだ
 耳にしたのだ、其の
 しかりしてゐるから大
 大々々う、當分の間の
 家を去るべし、
 といふ上へ、手紙に
 う、其下で其のうかう
 想ひてゐるが、其時
 だつた、手紙を
 ことばに其の、
 した、
 話を毎日かき
 方々のだ、
 たりと、
 白いことがあつた時
 は、また一度、其の年
 候をきいて、其のう
 多めにだ、

④ from 世川のう to 世川作之丞

1843 年 7 月 1 日付け⁴⁾

わしたちのやうに、数日おきに年貢が届けられるのは、他の藩にないやうであらう。

先日は年貢まで出頭をしてきたとのこと、総額70匁に達する筈に30匁ほど減まっています。珍しいものを足物にしたのだから、疑念がわいたのもうなづかぬ。所にお川越蔵の御店長は驚かされた上、近ごろの各店でも珍物と食事を賣り上げたから、本庄に其分振替したのだらうな。

と云つて、酒にはシカというケモノがいて、足を出して登れるものだから、いい珍しいものがあるのだと云ふ。早く御店様で、珍しさを話したくさん聞かせて置きたい。

p. 6.

鉄砲山古墳から出土した鉛製の弾丸。



埼玉県立吉澤足末史跡の博物館

大砲の注文のために仕立てた型紙



傳真切型(行田市堀土國助館蔵)

弾丸の命中●、的板◇、外れ一 を記録した書類

拾 五	拾 四	拾 三	拾 貳	拾
● ●	◇ ●	● ●	● ◇	◇ ◇
● ●	◇ ◇	● ●	● ●	● ●
◇ 一	◇ ●	◇ ●	◇ ●	◇ ●
● ◇	◇ ●	● 一	● ●	◇ ●
● ●	一 ◇	● 一	● ◇	◇ ●

武田五郎打中り附帳(行田市郷土博物館蔵)

p. 8.

⑨ 忍の鉄砲にまけるなり ～“アノ場所”で行われた忍藩の砲術訓練～



地面形状図式(行田市郷土博物館蔵)

p. 7.

◎ 忍藩の最れん坊“尾崎石城”がみた幕末。

なま久 尾崎重之助（石城）
 出身地 江戸
 生没年 1829年（文政12年）～1876年（明治9年）
 年 齢 33歳（日記執筆の当時）
 仕 事 なし（隠居中）
 特 技 絵を描くこと 江戸の『文雅人名録』に名前が載る著名人！
 趣 味 読書、友人とお酒を飲むこと
 友 人 同僚の藩士、城下町の寺の僧侶



SAMPLE

石城日記（東京大学文学部古文書室蔵）
 ※同大学ウェブサイトで全文を見ることができます

Nemo

p. 9.

SAMPLE

▲寺の台所で酒を飲む

瀬田城下の曲芸見物▼

SAMPLE

p. 11.

SAMPLE

▲幕府での屏風絵の制作風景

城下の長源寺での稲古仲間 親睦会▼

SAMPLE

p. 10.

SAMPLE

◎ 幕末の忍藩と人びと。

○幕末の日本と忍藩の役割・・・幕府から信頼される忍藩の姿。

○忍藩士、行田の人びとの眼を通した幕末。

・・・異国船渡来による緊張感もまちまちで、開国後も行田の人びとはそれまでと変わらない暮らしを営んでいました。それでも、武士の時代は終わり、明治の世を迎えます。

〔読んでみてほしい本・行ってみてほしい場所〕

幕末の忍藩のありみを歴史資料から解明したもの。

- ・『幕末の忍藩』行田市郷土博物館 2004年。
- ・『江戸湾沿岸警備と忍藩』行田市郷土博物館 2016年。
- ・『行田市史普及版 行田の歴史』行田市史編さん委員会 2016年。
- ・大岡朝昭『新訂 幕末下級武士の給日記—その暮らしの風景を綴り—』水曜社 2019年。

幕末の忍藩のありみを描いた小説。

- ・津本陽『開国』文春文庫 1996年。

幕末の忍藩に関する主な史跡。

- ・天祥寺（行田市堀王） ＊忍藩主の松平忠純、忠国、忠誠の菩提寺。
- ・鉄砲山古蹟（行田市堀王） ＊忍藩の砲術練習場のあった場所。
- ・品川第三台遺跡（東京都港区台場） ＊忍藩が警備を担当した第三台場が公園として整備。

p. 12.